

生ごみの減量化・資源化の方策の提言及び委員会としての協力体制（案）

●啓発活動

（ごみの出し方説明会・お出かけ講座・市報等。パンフレットの活用）

実施項目	委員会としての提言	委員会としての協力体制
1 生ごみ処理機関係		
・補助制度の活用	提言書のとおり	
・処理機のタイプ・コストの検討（ダンボール式含む）	処理機の普及を図るため、一般的なタイプ・コストを広く広報することが必要。また、ダンボール式の処理方法も実験が必要。検討には委員会に小委員会を設立し検討する。 イベントで機器を展示、紹介する。	小委員会メンバー 池上委員、小澤委員、 矢田委員 実験、女団連・消費者の会
2 説明会関係		
・説明会の活用と回数の増（お出かけ講座・若年、年配者）	現在実施している啓発活動（保育園等への説明）及び行事（こどもエコツアー等）は継続する。また、地区説明会やお出かけ講座に衛生自治会を通じて多くの住民の出席を依頼する。また、新バージョンの分別ビデオの活用。	衛生自治会
3 ごみ減量化・資源化の方法のアイデア関係		
・マイ箸・マイコップ等の持参	3 Rで検討	
・食品残さを出さない工夫（残飯の自家処理等）	アイデアの募集。料理の段階からの意識の改革が必要。関係団体との協議をする。	伊那商工会議所、JA ニシザワ
・簡易包装	3 Rで検討	

実施項目	委員会としての提言	委員会としての協力体制
・生ごみの水分を減らす（水切りの方法の確立、天日乾燥）	どんな方法があるか募集し、どんな長所、短所があるかの研究を委員会内で実施する。	小林（智）委員、三澤（知）委員
・新たなパンフレットの作成（生ごみ版、ちえ袋等）	提言書のとおり	
・生ごみのネーミング	処理機の被補助者のアンケートに盛込む。また市民からのネーミングのアイデア募集を行なう。	全委員
4 その他		
・資源物のリサイクルの流れ（どんな物にリサイクルされるか等）	市報を活用して継続してさらに広報していく。	
・アイデア、啓発活動のための展示を行なう。	イベント（生活展）、市役所庁舎ロビーで展示する。	

●堆肥化施設

実施項目	委員会としての提言	委員会としての協力体制
・モデル地区事業を市街地で実施。機械の管理は納入業者に委託	提言書のとおり	
・堆肥化施設などは長期的に研究するために、段階的に1台導入する。	提言書のとおり	
・生ごみの家畜飼料や堆肥化に取り組む団体の募集及び受入事業	今後、方法等を研究する。	JA

●その他

実施項目	委員会としての提言	委員会としての協力体制
・エコポイント制度の導入（チケットの余る恩恵等）	関係機関等と協議し、導入できるか検討していく。チケットについては上伊那広域連合の回収制度の状況で判断する。	伊那商工会議所、JA
・地産地消（不揃い、傷物等の処分）	関係団体と協議し広く啓発活動を行なう。	伊那商工会議所、JA、ニシザワ
・生ごみ処理機の被補助者や地区説明会の際にアンケートの実施	機会毎実施していく。被補助者には平成22年度にアンケートを実施する。	
・啓発、実践活動のためのボランティア組織の募集及び活用	ボランティアの募集を行い、協力して啓発活動を実践する。委員はボランティアとして活動する。	全委員